

目 次

【前期】		【区分】	科目番号	
時	間	割		
統	合	演	習	
		II	【演習】	OD061402 1

令和6年度 授業時間割表【第6学年】

(前期)

		春期								夏1期													
6年生		2	8	4	8	9	4	8	8	20	20	15	20	20	20								
月曜日	時間	4月1日	4月8日	4月15日	4月22日	4月29日	5月6日	5月13日	5月20日	5月27日	6月3日	6月10日	6月17日	6月24日	7月1日								
1眼目	(9:00-10:20)	オリエンテーション	組織-1	基礎と臨床を繋ぐ清水	基礎と臨床を繋ぐ清水	昭和の日	振替休日	薬理-2	実力試験2	インプラント-1	法歯学-1	保健・社会歯科-17	冠橋義歯-3,4	解剖-4	障害者歯科-2								
2眼目	(10:35-11:55)		生理-1		感染-2			生理-3		有床義歯-1	組織-3	薬理-3		生理-6	保存修復-7								
3眼目	(13:00-14:20)		国家試験の傾向と対策DES	病理-1	生理-2			病理-2		病理-3	障害者歯科-1	解剖-3	生理-5	画像診断-7	冠橋義歯-5,6								
4眼目	(14:35-15:55)		国家試験に向けての勉強法西村	感染-1	保健・社会歯科-5			保健・社会歯科-6		感染-3	生理-4	訪問歯科-1	インプラント-2	法歯学-2									
5眼目	(16:10-17:30)									保健・社会歯科-10	試験解説	保健・社会歯科-14											
6年生	火曜日	4月2日	4月9日	4月16日	4月23日	4月30日	5月7日	5月14日	5月21日	5月28日	6月4日	6月11日	6月18日	6月25日	7月2日								
1眼目	(9:00-10:20)	実力試験1	1総論1大項目1.2 高齢者歯科 総1	総論III大項目2 総論IV大項目2 保存科 総1.2	総論VI大項目1 小児歯科 総6	総論VI大項目1.3 総論VII大項目1.3.6 高齢者歯科 総4	総論VII大項目1.2 歯周病 総5.6	総論VII大項目1.2 保存科 総8.9	試験解説	小児歯科-1.2	有床義歯-2.3	病理-4	感染-5	歯周病-5.6	生化学-6								
2眼目	(10:35-11:55)		総論1大項目1.2.7 訪問歯科 総1	総論V大項目2 小児歯科 小児科 総5	総論VII大項目1.2 保存科 総4	総論VII大項目1.2 歯周病 総5.6	総論VII大項目1.2 保存科 総5	総論VIII大項目1.3.4.6.7 補綴系 総7.8		小児歯科-1.2	有床義歯-2.3	生化学-5	総合歯科-2	感染-6	訪問歯科-2	有床義歯-10							
3眼目	(13:00-14:20)		総論1大項目1.2.7 総合歯科 総1	総論III大項目1 口腔外科 総1.2	総論V大項目1.4.6 総合歯科 総3.4	総論VI大項目1 補綴系 総3.4	総論VII大項目1.2 補綴系 総5	総論VIII大項目1.3.4.6.7 補綴系 総7.8		画像診断-3.4	感染-4	歯周病-3.4	有床義歯-6.7	有床義歯-8.9	有床義歯-10	感染-6							
4眼目	(14:35-15:55)		総論III大項目1 総論IV大項目6 総論V大項目6 内科 総1																				
5眼目	(16:10-17:30)																						
6年生	水曜日	4月3日	4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日	5月22日	5月29日	6月5日	6月12日	6月19日	6月26日	7月3日								
1眼目	(9:00-10:20)	試験解説	総論1大項目1.2 障害者歯科 総1	総論III大項目2 総論IV大項目2 歯周病 総1.2	総論V大項目2.3 総論VII大項目1 障害者歯科 総2	総論VI大項目2.2 画像診断 総3.4	総論VII大項目1.2 保存科 総6.7	総論VII大項目3.4.5 麻酔科 総1.2	試験解説	矯正歯科-1.2	小児歯科-3.4	高齢者歯科-2.3	麻酔-3.4	矯正歯科-5.6	小児歯科-9								
2眼目	(10:35-11:55)		総論1大項目1.7 総合歯科 総2	総論IV大項目2 小児歯科 総1.2	総論V大項目4.5 総論VII大項目4.6 訪問歯科 総2	総論VII大項目1.2 歯周病 総4	総論VII大項目1.2 補綴系 総5.6	総論VII大項目3.4.5 麻酔科 総3.4		矯正歯科-1.2	小児歯科-3.4	保存修復-1.2	矯正歯科-3.4	小児歯科-5.6	小児歯科-7.8	矯正歯科-7.8	病理-5						
3眼目	(13:00-14:20)		総論II大項目7.8 小児歯科 小児科 総1	総論IV大項目2 補綴系 総2	総論V大項目5 高齢者歯科 総3	総論VII大項目1.2 歯周病 総4	総論VII大項目1.2 補綴系 総5.6	総論VII大項目3.4.5 麻酔科 総3.4		歯周病-1.2	保存修復-1.2	矯正歯科-3.4	小児歯科-5.6	小児歯科-7.8	矯正歯科-7.8	矯正歯科-9							
4眼目	(14:35-15:55)		総論II大項目6 矯正歯科 総1	総論1大項目1.2 小児歯科 総2	総論V大項目6 口腔外科 総5	総論VII大項目1.2 小児歯科 総7																	
5眼目	(16:10-17:30)																						
6年生	木曜日	4月4日	4月11日	4月18日	4月25日	5月2日	5月9日	5月16日	5月23日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日	6月27日	7月4日								
1眼目	(9:00-10:20)	試験解説	総論II大項目6 補綴系 総1	総論III大項目1.2 総論IV大項目2	総論VI大項目1 保存 総3	総論VI大項目1.3.4.5 口腔外科 総6.7	総論VII大項目1.3.4.5.8.9 口腔外科 総8.9	総論VIII大項目1.3.4.6.7 補綴系 総9.10	試験解説	歯内療法-1	画像診断-1.2	有床義歯-4.5	保存修復-3.4	歯内療法-4.5	保存修復-5.6	総合歯科-3							
2眼目	(10:35-11:55)		総論III大項目6 総論IV大項目2 高齢者 総2	総論IV大項目2 小児歯科 総3.4	総論VI大項目1 歯周病 総3	総論VII大項目1.2 歯周病 総3	総論VII大項目1.2 補綴系 総5.6	総論VIII大項目7.9 画像診断 総6		生物-1	画像診断-1.2	有床義歯-4.5	保存修復-3.4	歯内療法-4.5	保存修復-5.6	歯内療法-6							
3眼目	(13:00-14:20)		総論III大項目1 総論VI大項目2-1 画像診断 総1.2	総論IV大項目1.2 口腔外科 総3.4	空きコマ	総論VII大項目1.2 矯正歯科 総3.4	総論VIII大項目10 矯正歯科 総5.6	総論VIII大項目10 インプラント		保健・社会歯科-12,13	保健・社会歯科-15,16	歯内療法-2.3	画像診断-5.6	保健・社会歯科-18,19	組織-4	高齢者歯科-4							
4眼目	(14:35-15:55)														内科-1	薬理-4							
5眼目	(16:10-17:30)																						
6年生	金曜日	4月5日	4月12日	4月19日	4月26日	5月3日	5月10日	5月17日	5月24日	5月31日	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日	7月5日								
1眼目	(9:00-10:20)	入学式・オリエンテーション	生化学-1	生体工学-1.2	薬理1	憲法記念日	生体工学-3.4	解剖-2	高齢者歯科-1	口腔外科-3.4	基礎と臨床を繋ぐ清水	国試ゼロ模試	保健・社会歯科-20,21	口腔外科-7.8	保健・社会歯科-22,23								
2眼目	(10:35-11:55)		解剖-1		生化学-2											生化学-4							
3眼目	(13:00-14:20)		保健・社会歯科-1.2	保健・社会歯科-3.4	保健・社会歯科-7.8											保健・社会歯科-9	保健・社会歯科-11	口腔外科-1.2	生体工学-5.6	麻酔-1.2	口腔外科-5.6	生体工学-7.8	病理-6
4眼目	(14:35-15:55)			健康診断													生化学-3						インプラント-3
5眼目	(16:10-17:30)																						

夏2期							
20	4	16	16	20	8	20	20
7月8日	7月15日	7月22日	7月29日	8月5日	8月12日	8月19日	8月26日
冠橋義歯-7,8	海の日	冠橋義歯-9,10	組織-6 解剖-6	生化学-8 生理-7	振替休日	解剖-7 インプラント-6	冠橋義歯-13,14
組織-5		生化学-7	インプラント-4,5	冠橋義歯-11,12		薬理-6	組織-7
解剖-5		病理-7				病理-8	画像診断-14

7月9日	7月16日	7月23日	7月30日	8月6日	8月13日	8月20日	8月27日
有床義歯-11,12	実力試験3	有床義歯-13,14	歯周病-11,12	有床義歯-17,18	お盆休み	歯周病-13,14	有床義歯-21,22
歯周病-7,8		歯周病-9,10	有床義歯-15,16	薬理-5 感染-7		有床義歯-19,20	歯周病-15,16
試験解説			障害者歯科-4				

7月10日	7月17日	7月24日	7月31日	8月7日	8月14日	8月21日	8月28日
矯正歯科-9,10	試験解説	高齢者歯科-5,6	矯正歯科-13,14	小児歯科-12,13	お盆休み	麻酔-9,10	小児歯科-16,17
保存修復-8,9		矯正歯科-11,12	小児歯科-10,11	矯正歯科-15,16		小児歯科-14,15	麻酔-11,12

7月11日	7月18日	7月25日	8月1日	8月8日	8月15日	8月22日	8月29日
歯内療法-7,8	試験解説	麻酔-7,8	保健・社会歯科-26,27	画像診断-10,11	総合歯科-4,5	保健・社会歯科-30,31	法歯学-3 保健・社会歯科-32
保健・社会歯科-24,25		画像診断-8,9	歯内療法-9,10	保健・社会歯科-28,29	歯内療法-11,12	画像診断-12,13	訪問歯科-3 高齢者歯科-7
		保存修復-10	マッピング準備のため901使用不可				

7月12日	7月19日	7月26日	8月2日	8月9日	8月16日	8月23日	8月30日
口腔外科-9,10	口腔外科-11,12	学園記念式典(仮)	本学マッチング(仮)	保存修復-11,12	口腔外科-15,16	保存修復-13,14	口腔外科-19,20
麻酔-5,6	障害者歯科-3 生体工学-9	ゼロ模試験説明 西村		口腔外科-13,14	生体工学-10,11	口腔外科-17,18	生体工学-12,13

令和6年度 授業時間割表【第6学年】

(後期)

(後期)				秋期												
6年生	月曜日	時間	20	8	9月16日	9月23日	9月30日	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日
1眼目	(9:00-10:20)	冠橋義歯-15,16	薬理-7	生理-9	敬老の日	振替休日	卒試1A	必修対策大項目5.6,7,8,11 矯正歯科	スポーツの日	国試模試2	質疑応答	振替休日	卒試解説	弱点補強講義	総括・強化講義 歯周病	国試模試3
2眼目	(10:35-11:55)			必修対策大項目8,9,11 総合歯科				弱点補強講義						総括・強化講義 保存・歯内		
3眼目	(13:00-14:20)	解剖-8	病理-9,10	必修対策基準値 口腔外科				基礎と臨床を繋ぐ 清水						総括・強化講義 小児歯科		
4眼目	(14:35-15:55)	生理-8		必修対策大項目10,11 麻酔										総括・強化講義 矯正歯科		
5眼目	(16:10-17:30)															
6年生	火曜日	時間	9月3日	9月10日	9月17日	9月24日	10月1日	10月8日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日
1眼目	(9:00-10:20)	小児歯科-18,19	感染-8,9	国試模試1	質疑応答	卒試1A	必修対策大項目5.6,7,8,11 小児歯科	必修対策大項目4.5 生理	国試模試2	質疑応答	卒試1B	弱点補強講義	総括・強化講義 口腔保健	総括・強化講義 歯周病	国試模試3	
2眼目	(10:35-11:55)						必修対策大項目5.6,7,9,11 高齢者	必修対策大項目4.5 組織				弱点補強講義	総括・強化講義 有床義歯	総括・強化講義 矯正歯科		
3眼目	(13:00-14:20)	有床義歯-23	基礎と臨床を繋ぐ 清水				必修対策大項目5.6,7,9,11 内科	必修対策大項目11 生体工学				弱点補強講義	総括・強化講義 インプラント	総括・強化講義 小児歯科		
4眼目	(14:35-15:55)	矯正歯科-17					必修対策大項目5.6,7,8,11 障害者	必修対策大項目4.6,9 病理				弱点補強講義	総括・強化講義 冠橋義歯	模試解説 西村		
5眼目	(16:10-17:30)															
6年生	水曜日	時間	9月4日	9月11日	9月18日	9月25日	10月2日	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日
1眼目	(9:00-10:20)	歯内療法-13	実力試験4	国試模試1	質疑応答	卒試解説	必修対策大項目6.7,8,9,11 口腔外科	必修対策大項目4.6,7,11 薬理	自学自習	質疑応答	卒試1B	弱点補強講義	総括・強化講義 総合歯科	総括・強化講義 口腔保健	自学自習	
2眼目	(10:35-11:55)	生化学-9					必修対策大項目6.7,8,9,11 高齢者	必修対策大項目4 生化学				弱点補強講義	総括・強化講義 画像診断	総括・強化講義 有床義歯		
3眼目	(13:00-14:20)	矯正歯科-18,19					必修対策大項目8,9,11 有床冠橋	必修対策生物				自学自習	弱点補強講義	総括・強化講義 生理		模試解説 西村
4眼目	(14:35-15:55)						必修対策大項目2 総合歯科	弱点補強講義					弱点補強講義	総括・強化講義 生化学		
5眼目	(16:10-17:30)						試験解説									
6年生	木曜日	時間	9月5日	9月12日	9月19日	9月26日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日
1眼目	(9:00-10:20)	訪問歯科-4	試験解説	国試模試1	質疑応答	卒試解説	必修対策大項目6.7,8,9,11 保存	弱点補強講義	国試模試2	質疑応答	卒試解説	弱点補強講義	総括・強化講義 口腔保健	総括・強化講義 口腔外科	国試模試3	
2眼目	(10:35-11:55)	法歯学-4					必修対策大項目6.7,8,9,11 歯周病	弱点補強講義				総括・強化講義 障害者歯科	総括・強化講義 画像診断			
3眼目	(13:00-14:20)	総合歯科-6					必修対策大項目6,9 画像診断	弱点補強講義				総括・強化講義 薬理	総括・強化講義 保存・歯内			
4眼目	(14:35-15:55)	生物-2					必修対策大項目2,7,11 訪問歯科	弱点補強講義				総括・強化講義 冠橋義歯	総括・強化講義 訪問歯科			
5眼目	(16:10-17:30)															
6年生	金曜日	時間	9月6日	9月13日	9月20日	9月27日	10月4日	10月11日	10月18日	10月25日	11月1日	11月8日	11月15日	11月22日	11月29日	12月6日
1眼目	(9:00-10:20)	高齢者歯科-8	試験解説	国試模試1	質疑応答	卒試解説	必修対策大項目4 解剖	弱点補強講義	国試模試2	質疑応答	卒試解説	弱点補強講義	総括・強化講義 解剖	総括・強化講義 口腔外科	国試模試3	
2眼目	(10:35-11:55)	麻酔-13					必修対策大項目4 感染	弱点補強講義				総括・強化講義 病理	総括・強化講義 組織			
3眼目	(13:00-14:20)	内科-2.3					必修対策大項目1,2,3,9,11 保健	弱点補強講義				総括・強化講義 感染	総括・強化講義 生体工学			
4眼目	(14:35-15:55)						弱点補強講義	総括・強化講義 麻酔				総括・強化講義 高齢者歯科				
5眼目	(16:10-17:30)															

完成期															
12月9日	12月16日	12月23日	12月30日	1月6日	1月13日	1月20日	1月27日	2月3日	2月10日	2月17日	2月24日	3月3日	3月10日	3月17日	3月24日
質疑応答	卒試2	実力試験 再試			成人の日						振替休日				
12月10日	12月17日	12月24日	12月31日	1月7日	1月14日	1月21日	1月28日	2月4日	2月11日	2月18日	2月25日	3月4日	3月11日	3月18日	3月25日
質疑応答	卒試2			卒試3					建国記念日						
12月11日	12月18日	12月25日	1月1日	1月8日	1月15日	1月22日	1月29日	2月5日	2月12日	2月19日	2月26日	3月5日	3月12日	3月19日	3月26日
質疑応答	卒試解説		元日	卒試3											
12月12日	12月19日	12月26日	1月2日	1月9日	1月16日	1月23日	1月30日	2月6日	2月13日	2月20日	2月27日	3月6日	3月13日	3月20日	3月27日
質疑応答	卒試解説			卒試解説										春分の日	
12月13日	12月20日	12月27日	1月3日	1月10日	1月17日	1月24日	1月31日	2月7日	2月14日	2月21日	2月28日	3月7日	3月14日	3月21日	3月28日
質疑応答	卒試解説			卒試解説											

統合演習Ⅱ 【演習】

科目番号 OD061402

通年： 688コマ

評価責任者： 稲井 哲一郎

担当教員： 分野ごとに表記

（一般目標）

安全で質の高い思いやりのある歯科医療を行うために必要な知識を修得する。

（獲得できるディプロマ・ポリシー [DP] ）

（教育方法）

配布プリントを中心に、板書、スライド、e-learningシステム等を用いて講義を行う。
定期的に実力試験を実施し、知識の修得状況を適宜測定する。

（学習方法）

配布プリント、教科書等により予習を行うこと。講義には必ず出席すること。（必要以上に欠席しないこと。） 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 時間】

（評 価）

成績評価の詳細はオリエンテーション時に配布する年間の実施要領にて確認すること。成績は試験終了後、個人別に結果を配付する。

（教 科 書）

分野ごとに表記

（参 考 書）

分野ごとに表記

総合歯科

担当教員	米田雅裕、山田和彦、畠山純子
学習方法	問題回答、解説、配布資料による講義を行う。
事前事後学習方法	過去問に取り組み、弱点を明らかにしておく。歯科医療管理学の配布資料を復習する。
参考書	歯科医療面接アートとサイエンス、歯科医療管理学
関連DP	I-1 歯科医療の目的と歯科医師の役割を説明できる。
	I-4 規範を遵守した倫理的な診療行為を行うための態度を醸成する。
	I-6 医療人として社会での果たすべき役割を自覚し、利他主義的働きにより公益増進に貢献する態度を醸成する。
その他 伝達事項	必修問題を復習する。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月9日	山田	総論 I 大項目1, (2), 7
総2	4月10日	米田	総論 I 大項目1, 7
総3	4月23日	米田	総論 V 大項目1, 4, 6
総4	4月23日	畠山	1. 医療面接とインフォームドコンセント
1	6月4日	米田	2. 感染対策
2	6月18日	米田	3. 医療安全
3	7月4日	畠山	4. 医療情報管理と診療録記載
4	8月15日	米田	5. 滅菌・消毒・廃棄物
5	8月15日	米田	6. 治験、歯科医師の責務、臨床研修
6	9月5日	米田	7. 口臭、アレルギー、その他
7	10月7日	畠山	必修対策 大項目8. 9. 11
8	10月9日	米田	必修対策 大項目2
9	11月20日	畠山	統括・強化講義

高齢者歯科学

担当教員	内藤 徹、梅崎陽二郎、益崎与泰
学習方法	講義は、プレゼンテーションに対応したサブノートと配布プリントを使用して実施する。当該領域に関連した国家試験問題の解説も併せて行う。
事前事後学習方法	事前の学習としては、教科書の該当箇所に目を通す。事後は配布プリントによって知識の定着を促す。国家試験の対策として最も確実なものは、教科書によって知識を確実なものにすることである。
参考書	佐藤裕二ら編集『よくわかる高齢者歯科学』第2版、永末書店、2023.
関連DP	Ⅲ-13 高齢者の口腔疾患の特徴と病因および身体的・精神的特徴と歯科治療上の留意点を説明できる。
	Ⅳ-11 高齢者の歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面の診察と治療の介助ができる。
	Ⅴ-1 高齢化の現状、問題点および医療との関わりについて説明できる。
その他伝達事項	

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月9日	内藤	介護保険・地域包括ケアシステム
総2	4月11日	内藤	摂食・嚥下障害1
総3	4月24日	梅崎	高齢者の疾患・老年症候群1
総4	4月30日	内藤	摂食・嚥下障害2
1	5月24日	益崎	介護保険、地域包括ケア1
2	6月12日	益崎	介護保険、地域包括ケア2
3	6月12日	梅崎	有病者の歯科治療・全身管理1
4	7月4日	内藤	摂食・嚥下障害3
5	7月24日	益崎	加齢変化
6	7月24日	梅崎	栄養管理と栄養指導
7	8月29日	内藤	摂食嚥下リハビリテーション1
8	9月6日	内藤	摂食嚥下リハビリテーション2
9	10月8日	内藤	ADL、IADL、QOL
10	11月29日	梅崎	健康指標、バイタルサイン、検査値1

訪問歯科学

担当教員	今井 裕子、堤 貴司
教育方法	授業プリントを中心に、参考書を使用し、幅広い領域の重要な部分を説明する。併せて、国家試験の過去問から傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後学習方法	参考書を用いて予習。関連過去問を事前にチェックする。
参考書	有病者歯科学、有病高齢者歯科治療のガイドライン（上）（下）
関連DP	III-19 歯科診療時に留意すべき全身疾患とその全身管理について説明できる。
	V-3 地域包括ケアにおける歯科医療の関わりについて説明できる。
	IV-14 周術期における口腔ケア・マネジメントについて理解し実践できる。
その他 伝達事項	国家試験対策として過去問（moodleに設問・解説を掲載）を解き、十分に理解する。 →「実践」も含めて正答選択肢だけではなく、誤答選択肢に関連する用語等をチェックする。 →誤答選択肢も重要語句が多く、他の年度で関連問題が出題されることが多い。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月9日	今井 裕子	周術期口腔機能管理
総2	4月24日	堤 貴司	地域包括ケアシステム、チーム医療
1	6月10日	堤 貴司	慢性期の歯科医療
2	7月2日	今井 裕子	全身疾患を有する者への配慮①（循環器疾患）
3	8月29日	今井 裕子	全身疾患を有す患者への配慮②（喘息・アレルギー・自己免疫疾患・ステロイド療法）
4	9月5日	今井 裕子	全身疾患を有する患者への配慮③（腎疾患・肝疾患・妊婦）

歯内療法学

担当教員	松崎 英津子、松本 典祥、水上 正彦
教育方法	項目別の資料と教科書を使用する。重要ポイントは資料内に書き込み・マーキングし、自分自身のオリジナルサブノートとして、いつでも見直せるようにする。また、適宜Googleフォームと学生端末を活用した小テストを行い、理解度に応じた講義を行う。
事前事後学習方法	事前：該当範囲の教科書、3・4年次の講義・実習資料を熟読し、疑問点（どこが理解できていないか）をまとめておく。 事後：資料に付した問題、該当箇所の実践を解き、理解度をチェックする。不明な点は放置せず、質問する。 関連・補足資料はMoodle上にも提示する。
参考書	エンドドンティクス第5,6版（永末書店）、歯内療法学第5版（医歯薬出版）
関連DP	Ⅲ-8 歯・歯周組織の疾患の特徴と病因を説明できる。
	Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。
その他伝達事項	国家試験では、領域をまたぐ問題が出題される傾向にあるため、基礎科目、臨床科目との関連について知識の整理に努める。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月16日	松本	令和6年度歯科医師国家試験出題基準 総論Ⅲ, IV：大項目2の内容に関する解説
総3	4月25日	松本	総論Ⅵ：大項目1の内容に関する解説（歯内+修復の範囲）
総5	5月7日	松本	総論Ⅶ：大項目1, 2の内容に関する解説
総6,7	5月8日	松崎	総論Ⅶ：大項目1, 2の内容に関する解説
1	5月23日	松本	象牙質知覚過敏症、歯髄保存療法
2	6月6日	松崎	歯髄保存療法、根未完成歯の歯内療法
3	6月6日	松崎	歯髄疾患、根尖性歯周疾患
4	6月20日	水上	抜髄、根管形成、根管充填
5	6月20日	水上	抜髄、根管形成、根管充填
6	7月4日	水上	偶発症、高齢者の歯内治療
7	7月11日	松崎	感染根管治療、再根管治療
8	7月11日	松崎	感染根管治療、再根管治療
9	8月1日	松本	歯の吸収、歯根破折
10	8月1日	松崎	歯内-歯周疾患
11	8月15日	松崎	外科的歯内療法
12	8月15日	松崎	偶発症、緊急処置
13	9月4日	松崎、松本	重点項目の復習

保存修復学

担当教員	松崎 英津子、山田 和彦、松本 典祥、畠山 純子
教育方法	項目別の資料と教科書を使用する。重要ポイントは資料内に書き込み・マーキングし、自分自身のオリジナルサブノートとして、いつでも見直せるようにする。また、適宜Googleフォームと学生端末を活用した小テストを行い、理解度に応じた講義を行う。
事前事後学習方法	事前：該当範囲の教科書、3・4年次の講義・実習資料を熟読し、疑問点（どこが理解できていないか）をまとめておく。 事後：資料に付した問題、該当箇所の実践を解き、理解度をチェックする。不明な点は放置せず、質問する。 関連・補足資料はMoodle上にも提示する。
参考書	第5版保存修復学21（永末書店）、保存修復学第7版（医歯薬出版） 可能であれば、保存修復学21は第6版が新規刊行されているため購入をすすめる。
関連DP	Ⅲ-8 歯・歯周組織の疾患の特徴と病因を説明できる。
	Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。
その他伝達事項	国家試験では、領域をまたぐ問題が出題される傾向にあるため、基礎科目、臨床科目との関連について知識の整理に努める。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総2	4月16日	松本	令和6年度歯科医師国家試験出題基準 総論Ⅲ, IV：大項目2の内容に関する解説
総4	4月30日	松崎	総論Ⅶ：大項目1, 2の内容に関する解説
総8,9	5月14日	松崎、松本	総論Ⅶ：大項目1, 2の内容に関する解説
1	6月5日	畠山	歯の構造と機能、う蝕、う蝕の診査
2	6月5日	松本	う蝕以外の硬組織疾患（tooth wear等）
3	6月13日	松崎	接着システム
4	6月13日	松崎	コンポジットレジン修復
5	6月27日	松崎	コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復
6	6月27日	松崎	根面う蝕、補修修復
7	7月1日	山田	間接修復、窩洞の条件、セメント
8	7月10日	山田	インレー修復①（メタルインレー）
9	7月10日	山田	インレー修復②（コンポジットレジンインレー、セラミックインレー）
10	7月25日	松本	変色歯の治療（歯の漂白、ラミネートベニア修復）
11	8月9日	山田	手用切削器具、回転切削器具、各種レーザー
12	8月9日	山田	重点項目の復習
13	8月23日	松崎、松本	重点項目の復習
14	8月23日	松崎、松本	重点項目の復習

歯周病学

担当教員	坂上竜資、吉永泰周、大城希美子
学習方法	前半は、サブノートを使用し、幅広い重要な知識を説明する。 後半は、国家試験の過去問などの問題を使用して問題演習を行う。
事前事後 学習方法	講義前に関連する部分のサブノートを予習し、講義に臨む。 講義後はその日のうちに重要項目について復習し理解を深め、暗記すべき点については暗記する。
参考書	サブノート、Answer等
関連DP	Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。
	Ⅲ-8 歯・歯周組織の疾患の特徴と病因を説明できる。
	Ⅳ-6 歯と歯周組織の疾患の診断と基本的治療および保健指導と予防処置を実践できる。
その他 伝達事項	前期はサブノートを中心に基本的な知識の暗記に重点を置いて勉強し、 後期はその知識を活かして問題演習を中心に勉強すること。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月17日	坂上	総論Ⅲ病因・病態 大項目2 歯周組織の疾患
総2	4月17日	吉永	総論Ⅳ主要症候 大項目2 歯周組織
総3	4月25日	吉永	総論Ⅵ検査 大項目1 歯周組織検査
総4	5月1日	坂上	総論Ⅶ治療 大項目1・2 歯周治療（基本治療）
総5	5月7日	吉永	総論Ⅶ治療 大項目1・2 歯周治療（切除療法、組織付着療法、再生療法）
総6	5月7日	大城	総論Ⅶ治療 大項目1・2 歯周治療（歯周形成外科）
1	5月29日	吉永	サブノート12 歯周外科の基本、術式、歯周外科の分類
2	5月29日	吉永	サブノート11-01 切除療法、02組織付着療法
3	6月11日	吉永	サブノート11-03 再生療法
4	6月11日	大城	サブノート13 根分岐部病変の治療
5	6月25日	吉永	サブノート14 外科術式、治療法の選択
6	6月25日	大城	サブノート15 根面被覆、角化歯肉増大、選択
7	7月9日	大城	サブノート16 歯周外科器具、17 SPT
8	7月9日	吉永	臨床問題演習1
9	7月23日	大城	サブノート02 分類・特殊な歯周病
10	7月23日	吉永	サブノート07 歯周検査
11	7月30日	吉永	サブノート03 歯内歯周、04 リスクファクター、05 ペリオドンタルメディスン
12	7月30日	大城	サブノート06 咬合性外傷
13	8月20日	吉永	サブノート08 歯周基本治療
14	8月20日	吉永	サブノート09-01、02、03、SRP、LDDS
15	8月27日	大城	一般問題演習
16	8月27日	吉永	臨床問題演習2
17	10月10日	大城	必修対策講義（問題演習）
18	11月25日	吉永	弱点強化問題演習1
19	11月26日	吉永	弱点強化問題演習2

冠橋義歯学分野

担当教員	山口雄一郎, 加我公行
教育方法	配布資料を使用し、幅広い領域の重要な部分を説明する。 その後は、国家試験の過去問から傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後 学習方法	配布資料に記載の過去問を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。 講義での解説は必ず教科書を使うので、教科書の該当箇所の復習を必ずすること。
参考書	教科書, クラウンブリッジテクニク
関連DP	Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。
	Ⅲ-9 歯質欠損・歯の欠損の病態と病因を説明できる。
	Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。
その他 伝達事項	講義の際に使用したスライドをプリントにして配布します。 各自でバインダー等にまとめて、サブノートとして使用して下さい。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月11日	山口, 加我	総論Ⅱ, 検査
総3, 総4	4月30日	山口, 加我	総論Ⅵ, 診断・治療計画の立案, 補綴前処置
総7, 総8	5月14日	山口, 加我	総論Ⅷ, 支台築造, 支台歯形成
1, 2	6月3日	山口, 加我	プロビジョナルレストレーション, 印象採得
3, 4	6月17日	山口, 加我	顎間関係の記録
5, 6	7月1日	山口, 加我	ロストワックス法による補綴装置の製作
7, 8	7月8日	山口, 加我	ろう付け, CAD/CAM法による補綴装置の製作
9, 10	7月22日	山口, 加我	補綴装置の口腔内試適・装着
11, 12	8月5日	山口, 加我	補綴装置装着後の術後管理
13, 14	8月26日	山口, 加我	有歯顎者の咬合と下顎滑走運動
15, 16	9月2日	山口, 加我	国試対策講義

有床義歯学

担当教員	都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平
教育方法	卒業試験 1Aまでに有床義歯学の基本的知識事項を習得する。 卒業試験 1Bまでに模試解説を行い令和5年度歯科医師国家試験出題基準の対策を行う。
事前事後 学習方法	授業前に、各授業で扱う内容についてMoodleの動画を視聴しておく。 授業後に、スライド集を用いて内容を説明できるようにする。
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・無歯顎補綴治療学 第3版/医歯薬出版株式会社 ・コンプリートデンチャーテクニック 第6版 /医歯薬出版株式会社 ・歯学生のパーシャルデンチャー第6版/医歯薬出版株式会社 ・パーシャルデンチャーテクニック第5版/医歯薬出版株式会社
関連DP	Ⅲ-9 歯質欠損・歯の欠損の病態と病因を説明できる。
	Ⅳ-7 歯質欠損・歯の欠損の診断と基本的治療を実践できる。
	Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。
その他 伝達事項	歯科医師国家試験の過去問と有床義歯学スライド集を中心に授業を進めます。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総2	4月17日	川口智弘	基本的事項（咬合・咀嚼関係）
総5,6	5月8日	川口智弘	（スタンダード全部床義歯学①）診査、前処置、印象採得、模型製作
総9,10	5月16日	川口智弘	（スタンダード全部床義歯学②）咬合採得、咬合器
1	5月27日	川口智弘	（スタンダード部分床義歯学①）構成、要件、支台装置
2,3	6月4日	川口智弘	（スタンダード全部床義歯学③）人工歯排列、歯肉形成、試適、埋没、重合、装着
4,5	6月6日	川口智弘	（スタンダード全部床義歯学④）残存組織・咬合の変化とその対応
6,7	6月18日	川口智弘	（スタンダード全部床義歯学⑤）全部床義歯の金属床、粘膜調整、複製義歯
8,9	6月25日	川口智弘	（スタンダード部分床義歯学②）連結子、診査、前処置、印象採得
10	7月2日	川口智弘	（スタンダード部分床義歯学③）サベイング、設計、咬合採得、試適、装着
11,12	7月9日	川口智弘	（スタンダード部分床義歯学④）アタッチメント
13,14	7月23日	川口智弘	（スタンダード部分床義歯学⑤）特殊な義歯
15,16	7月30日	川口智弘	（スタンダード部分床義歯学⑥）部分床義歯の術後
17,18	8月6日	川口智弘	（スタンダード部分床義歯学⑦）部分床義歯の義歯修理、デジタルデンチャー
19,20	8月20日	吉田兼義	（ハイレベル顎補綴）顎義歯、舌接触補助床、スピーチエイド、軟口蓋挙上装置
21,22	8月27日	濱中一平	（ハイレベル全部床義歯学）咬合様式、粘膜調整、リライン、即時義歯
23	9月3日	濱中一平	（ハイレベル部分床義歯学）設計、支台歯間線、サベイング、咬合採得

口腔インプラント学

担当教員	城戸 寛史、加倉 加恵
教育方法	実力試験まではサブノートを使用し、幅広い領域の重要な部分を説明する。 その後は、国家試験の過去問から傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後 学習方法	問題集に記載の過去問を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。
参考書	第4版 よくわかる口腔インプラント学（医歯薬出版）
関連DP	Ⅲ-9 歯質欠損・歯の欠損の病態と病因を説明できる。
	Ⅲ-13 高齢者の口腔疾患の特徴と病因および身体的・精神的特徴と歯科治療上の留意点を説明できる。
その他 伝達事項	国家試験対策として 過去問をひたすら解く。 →正答選択肢だけではなく、誤答選択肢に関連する用語等をチェックする。 →誤答選択肢も重要語句が多く、他の年度で関連問題が出題されることが多い。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	5月16日	城戸 寛史	オリエンテーション、授業の進め方、国試対策、小テスト、解説講義
1	5月27日	城戸 寛史	小テスト、解説講義
2	6月17日	加倉 加恵	小テスト、解説講義
3	7月5日	城戸 寛史	小テスト、解説講義
4	7月29日	加倉 加恵	小テスト、解説講義
5	7月29日	城戸 寛史	小テスト、解説講義
6	8月19日	加倉 加恵	小テスト、解説講義

小児歯科学

担当教員	岡 暁子, 柏村晴子
教育方法	実力試験まではサブノートを使用し、幅広い領域の重要な部分を説明する。 その後は、国家試験の過去問から傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後 学習方法	問題集に記載の過去問を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。
参考書	Answer. 小児の口腔科学、パーフェクトマスター
関連DP	Ⅲ-3 人体の発生、発育および加齢変化を説明できる。
	Ⅲ-7 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の発生、発育および加齢変化を説明できる。
	Ⅲ-12 小児の口腔疾患の特徴と病因および身体的・精神的特徴と歯科治療上の留意点を説明できる。
その他 伝達事項	サブノートは見開きで、右側が白紙のページとなっている。講義で新たな資料の配布があった場合は、そのページに貼り付けを行う。講義には必ず、サブノートを持参すること。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月10日	岡	心身の発達・顔面頭蓋の発達
総2	4月17日	岡	心身の発達・顔面頭蓋の発達
総3	4月18日	柏村	顔面頭蓋の発達
総4	4月18日	柏村	小児の口腔機能の発達
総5	4月23日	岡	歯の発育
総6	4月25日	岡	歯の発育と異常
総7	5月1日	岡	歯の発育と異常
1	5月28日	岡	歯列咬合の発育と異常
2	5月28日	岡	歯列咬合の発育と異常
3	6月5日	岡	乳歯・幼若永久歯の特徴
4	6月5日	岡	小児の診察と歯科的対応法
5	6月19日	柏村	小児の齲蝕・齲蝕予防
6	6月19日	柏村	小児の齲蝕・齲蝕予防
7	6月26日	岡	齲蝕の診断方法
8	6月26日	岡	乳歯の歯髄処置
9	7月3日	岡	幼若永久歯の歯髄処置
10	7月31日	岡	乳歯・幼若永久歯歯冠修復
11	7月31日	岡	乳歯の抜歯基準
12	8月7日	岡	乳歯・幼若永久歯の外傷
13	8月7日	岡	乳歯・幼若永久歯の外傷
14	8月21日	岡	口腔粘膜疾患
15	8月21日	岡	小児にみられる感染症
16	8月28日	岡	保隙と咬合誘導
17	8月28日	岡	保隙と咬合誘導
18	9月3日	岡	小児口腔保健
19	9月3日	岡	小児医療安全
20	10月8日	岡	臨床実地問題演習
21	11月25日	岡	臨床実地問題演習
22	11月26日	岡	臨床実地問題演習

障害者歯科学

担当教員	森田浩光、田崎園子、天野郁子
教育方法	歯科医師国家試験の出題基準や過去問に沿った内容のプリントを配布して解説するので、それを理解し覚える。
事前事後学習方法	障害者と社会の関係、歯科診療時における障害者への対応法、疾患・症候群の過去の国家試験出題内容を参照し、頻度の高いものから確実に覚えていく。
参考書	スペシャルニーズ障害者歯科（知識の確認） Syndrome of the Head and Neck（正確に知りたい場合）
関連DP	I-3 歯科医療関連法規について説明できる。
	Ⅲ-15 障害者の口腔疾患の特徴と病因および身体的・精神的特徴と歯科治療上の留意点を説明できる。
	Ⅲ-18 口腔・顎顔面症状を呈する全身疾患について説明できる。
その他 伝達事項	障害者歯科関連の問題集および各種疾患・症候群の資料を渡すので、それを用いて自己学習する。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月10日	田崎園子	ノーマライゼーション、パターナリズムとインフォームドコンセント、国際生活機能分類
総2	4月24日	天野郁子	Down症候群、先天性心疾患
1	5月27日	森田浩光	発達障害、脳性麻痺、てんかん
2	7月1日	田崎園子	各種疾患、症候群、歯の異常を伴う疾患
3	7月19日	田崎園子	行動調整
4	7月30日	森田浩光	障害関連法令、障害者歯科全般のまとめ
5	10月8日	天野郁子	必修対策
6	11月21日	森田浩光	総括・強化講義

〈矯正歯科学分野〉

担当教員	阿部朗子、梶原弘一郎
教育方法	4年時に配布した講義プリントとサブノートを中心に、幅広い領域の重要な部分を説明する。過去の国家試験を題材に、対策問題を解説する。
事前事後学習方法	サブノートに記載の過去問を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。各授業の内容について復習問題プリントを配布するので、解いてミスした内容をサブノートに記載する。
参考書	医歯薬出版 歯科矯正学（第6版）、矯正歯科治療 この症例にこの装置
関連DP	Ⅲ-11 不正咬合の特徴と病因を説明できる。
	Ⅲ-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。
	Ⅳ-9 不正咬合を有する患者の診察、基本的な診断および治療計画の立案ができる。
その他 伝達事項	4年時に配布したサブノート、講義プリント、実習プリントを毎回持参すること。各講義の前に、サブノート偶数ページの改変問題（25題程度）を毎回解いてから講義やテストに臨むこと。サブノート奇数ページの参考問題を講義後に解いてミスした内容を記載し繰り返し解くこと。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月10日	阿部	総論Ⅱ（口腔・顎顔面の発生・成長・発育） サブノートp50～p53（不正咬合の原因、先天疾患）国試対策の話
総2	4月25日	阿部	総論Ⅶ（不正咬合の治療） サブノートp1～p7（Angleの分類、口腔・顎顔面の成長発育）
総3, 総4	5月2日	阿部	総論Ⅵ（歯列咬合の検査） サブノートp8～p9, p12～p13（歯列模型分析、セファロ分析）
総5, 総6	5月9日	阿部	総論Ⅷ（歯科矯正用材料） サブノートp18～p19, p20～p21（プライヤー類、顎間ゴム）
1, 2	5月29日	阿部	サブノートp10～p11, p14～p15（Tweedの抜歯基準、抜歯パターン）
3, 4	6月12日	阿部	サブノートp16～p17, p22～p23（外科的矯正治療、マルチブラケット治療）
5, 6	6月26日	阿部	サブノートp26～p33（AngleⅡ級（上顎前突）症例の治療パターン） サブノートp34～p41（AngleⅢ級（下顎前突）症例の治療パターン）
7, 8	7月3日	阿部	サブノートp42～p49, p54～p55（AngleⅠ級症例、開咬、過蓋咬合、保定など）
9, 10	7月10日	阿部	不正咬合の検査・診察診断のまとめ 1、2
11, 12	7月24日	阿部	混合歯列期の治療のまとめ 1、2
13, 14	7月31日	梶原	マルチブラケット治療のまとめ 1、2
15, 16	8月7日	梶原	他科との共同による治療、保定および矯正治療による偶発症
17	9月3日	阿部	矯正装置各種
18, 19	9月4日	阿部	矯正装置各種 最後のまとめ

口腔外科学分野・口腔腫瘍学分野

担当教員	平木昭光、橋本憲一郎、佐々木三奈、吉住潤子、勝俣由里、横尾嘉宣
学習方法	講義プリントを使用し、幅広い領域の重要な部分を説明する。 その後は、国家試験の過去問から傾向を探り、対策問題を中心に解説する。
事前事後学習方法	該当領域（疾患）について4年時の講義プリントと過去問、Answerの該当問題、見開き問題集に記載の過去問を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。各授業で扱う内容について復習プリントを渡すので、それを解き自分で答えを調べる。
参考書	なし
関連DP	Ⅲ-10 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病因を説明できる。
	Ⅲ-18 口腔・顎顔面症状を呈する全身疾患について説明できる。
	Ⅲ-19 歯科診療時に留意すべき全身疾患とその全身管理について説明できる。
その他 伝達事項	疾患別に講義をします。過去問をひたすら解く。特に、視覚素材がない一般問題を理解する。 →正答選択肢だけでなく、誤答選択肢に関連する用語等チェックする。 →誤答選択肢も重要語句が多く、他の年度で関連問題が出題されることが多い。

授業計画				網掛けは総論
コマ	日時		担当教員	授業内容
総1, 総2	4月16日	火	平木*	3, 4限) 総論III 大項目1 (病因・病態)
総3, 総4	4月18日	木	平木*	3, 4限) 総論IV 大項目1, 2 総論V 大項目1
総5	4月24日	水	平木*	4限) 総論V 大項目6 (全身疾患)
総6, 総7	5月2日	木	平木	1, 2限) 総論VI 大項目1, 3, 4, 5 (検査)
総8, 総9	5月9日	木	平木	1, 2限) 総論VII 大項目1, 3, 4, 5, 8, 9 (治療)
1, 2	5月24日	金	平木*	3, 4限) 先天異常・唇顎口蓋裂
3, 4	5月31日	金	佐々木	1, 2限) 嚢胞
5, 6	6月21日	金	勝俣	3, 4限) 損傷
7, 8	6月28日	金	平木	1, 2限) 悪性腫瘍
9, 10	7月12日	金	橋本	1, 2限) 歯源性腫瘍
11, 12	7月19日	金	橋本	1, 2限) 唾液腺疾患
13, 14	8月9日	金	横尾	3, 4限) 症候群・顎変形症
15, 16	8月16日	金	平木	1, 2限) 炎症・感染症
17, 18	8月23日	金	平木	3, 4限) 口腔粘膜疾患
19, 20	8月30日	金	平木*	1, 2限) 顎関節疾患
21	10月7日	月	吉住	3限) 必修対策 基準値
22, 23	10月9日	水	橋本	1, 2限) 必修対策 大項目6, 7, 8, 9, 11
24	11月28日	木	平木	1限) 総括・強化講義
25	11月29日	金	平木	1限) 総括・強化講義

画像診断学

担当教員	香川豊宏
教育方法	サブノート（2024年度版）をメインに学習し、補足用に配布するプリントと合わせて基本的事項の復習を行います。また、過去問を随時提示し、考え方について学習をします。
事前事後学習方法	サブノートおよび配付資料を復習し、実践などの過去問を複数回、解いていきましょう。少なくとも過去問に関しては分からない語句や内容が無いようにしておくことが重要です。
参考書	歯科放射線学 第6版
関連DP	III-8 歯・歯周組織の疾患の特徴と病因を説明できる。
	IV-3 診断・治療に必要な検査を選択し実施できる。
	IV-8 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患の診断と基本的治療を実践できる。
その他 伝達事項	国家試験、卒業試験においては誤答はちゃんと誤答たる理由があります。正答だけでなく、誤答のどこを修正したら正答になるのかも学習しましょう。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月11日	香川豊宏	放射線物理、放射線の単位
総2	4月11日	香川豊宏	デジタルとアナログ、撮影機器の基本的事項
総3	5月1日	香川豊宏	放射線の障害、放射線治療
総4	5月1日	香川豊宏	口内法
総5	5月7日	香川豊宏	パノラマエックス線撮影
総6	5月16日	香川豊宏	口外法、造影検査
1	5月28日	香川豊宏	CT・MRI・超音波検査
2	5月28日	香川豊宏	核医学検査
3	5月30日	香川豊宏	嚢胞の画像診断
4	5月30日	香川豊宏	良性腫瘍の画像診断
5	6月13日	香川豊宏	悪性腫瘍の画像診断
6	6月13日	香川豊宏	顎関節の画像診断
7	6月24日	香川豊宏	炎症の画像診断
8	7月25日	香川豊宏	放射線治療の復習
9	7月25日	香川豊宏	単純撮影法の復習
10	8月8日	香川豊宏	特殊撮影法の復習
11	8月8日	香川豊宏	画像解剖の復習1（一般撮影）
12	8月22日	香川豊宏	画像解剖の復習2（特殊撮影）
13	8月22日	香川豊宏	透過像疾患の復習
14	8月26日	香川豊宏	不透過像疾患の復習

麻酔管理学

担当教員	池田 水子、野上 堅太郎、守永 紗織、白川 由紀恵
教育方法	講義スライドをもとに重要な部分を説明する。授業中に国家試験過去問を提示し解説する。
事前事後学習方法	事前学習：関連分野の参考書、4年次の講義スライドを見直し復習する。 事後学習：講義スライドをファイリングする。参考書の関連分野を読み、講義スライドに追記する。授業中に提示された国家試験問題を再度自分で解く。
参考書	講義スライド、歯科国試Answer等（国試過去問集）、歯科麻酔・生体管理学（学建書院第2版）
関連DP	Ⅲ-19 歯科診療時に留意すべき全身疾患とその全身管理について説明できる。
	Ⅳ-13 一次救命処置について理解し実践できる。
その他伝達事項	国家試験対策として過去問をひたすら解く。 →正答選択肢だけではなく、誤答選択肢に関連する用語等をチェックする。 →誤答選択肢も重要語句が多く、他の年度で関連問題が出題されることが多い。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	5月15日	池田	全身麻酔（概論、鎮痛薬、鎮静薬、筋弛緩薬）、モニター（カブノ、脳波、筋弛緩）、悪性高熱症
総2	5月15日	池田	術前評価（血液検査、正常心電図、ASA分類）、心不全、NYHA分類
総3	5月15日	池田	術前評価、呼吸器疾患患者の麻酔（スパイロメトリ、喘息、COPD）
総4	5月15日	池田	肝機能障害、腎機能障害患者の麻酔（pH、アシドーシス、浮腫）
1	6月7日	野上	局所麻酔（概論、局所麻酔薬）
2	6月7日	野上	局所麻酔合併症（局麻薬中毒、メトヘモグロビン血症）、迷走神経反射、アナフィラキシー、高血圧緊急症
3	6月19日	守永	鎮静法（笑気鎮静法、静脈内鎮静法）、モニター（パルスオキシメータ、血圧計）
4	6月19日	守永	バイタルサイン（JCS、呼吸回数、脈拍、血圧、体温）、高齢者・妊婦・小児・障害者
5	7月12日	野上	顎顔面領域の疼痛性・麻痺性疾患
6	7月12日	野上	顎顔面領域の疼痛性・麻痺性疾患
7	7月25日	白川	気道評価、気道確保（気管挿管、上喉頭器具、緊急時気道確保）
8	7月25日	白川	気道確保合併症（誤嚥性肺炎、食道挿管、片肺挿管、喉頭痙攣、嘔声）
9	8月21日	池田	循環器疾患患者の麻酔（不整脈、深部静脈血栓、肺血栓、弁膜症、心内膜炎、抗凝固薬）
10	8月21日	池田	循環器疾患患者の麻酔（高血圧、虚血性心疾患、脳血管障害、抗血小板薬、循環作動薬）
11	8月28日	池田	循環器疾患患者の麻酔（先天性心疾患、チアノーゼ、ヘモグロビン酸素解離曲線）
12	8月28日	池田	内分泌疾患患者の麻酔（糖尿病、甲状腺、副腎、ステロイド）
13	9月6日	野上	5大合併症まとめ・比較、救急
14	10月7日	守永	必修対策講義
15	11月22日	野上	強化講義

内科学

担当教員	大星 博明
教育方法	歯科医師に必要な内科学の重要知識を国家試験に頻出する問題を中心に解説する。
事前事後 学習方法	授業前に3年生、5年生の内科学講義資料、内科の教科書に目を通して、授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認して、授業中に解決できるように十分に準備する。
参考書	知識の確認は配付資料。
関連DP	III-17 主要な医科疾患の症候について説明できる。
その他 伝達事項	<p>歯科医師国家試験過去問を丁寧に解く。 →正答選択肢だけではなく、誤答選択肢に関連する用語等をチェックする。 →問題に関連する領域の知識を再確認し理解しておく（どんな改題があり得るかを考えてみる）。</p>

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
総1	4月9日	大星 博明	内科の主要な症候、バイタルサイン
1	6月27日	大星 博明	貧血、検査所見
2	9月6日	大星 博明	生活習慣病(内臓肥満症候群、糖尿病、高血圧症)
3	9月6日	大星 博明	易出血性、呼吸器疾患、内分泌疾患
4	10月8日	大星 博明	高齢者に多い疾患(心疾患)

口腔保健学・社会歯科学

担当教員	谷口奈央、島津 篤、永嶋哲也、藤本暁江
教育方法	歯科医師国家試験出題基準（令和5年版）の担当項目を網羅的に復習する。同時に、最近の国家試験の傾向に基づいた対策問題を中心に解説する。
事前事後学習方法	シラバスに記載されている授業内容に対応する過去に使用した教科書の部分を確認する。
参考書	衛生学・公衆衛生学、口腔保健・予防歯科学
関連DP	I-2 医療倫理と研究倫理について説明できる。
	I-3 歯科医療関連法規について説明できる。
	Ⅲ-22 健康と社会・環境の関係および公衆衛生に必要な予防と健康管理について説明できる。
その他 伝達事項	10月の必修対策、11月の総括・強化講義では実力試験や模擬試験の成績に基づき、弱点強化の講義をします（担当教員：藤本暁江、内藤麻利江）。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4月5日	島津 篤	社会歯科1（歯科医師法）
2	4月5日	谷口奈央	口腔保健1（歯の沈着物、う蝕・歯周病予防）
3	4月12日	谷口奈央	口腔保健2（疫学指標：う蝕・歯周病・口腔清掃状態・不正咬合）
4	4月12日	島津 篤	衛生1（人口）
5	4月15日	島津 篤	社会歯科2（医療従事者）
6	4月22日	島津 篤	衛生2（環境保健）
7	4月26日	島津 篤	社会歯科3（医療法1）
8	4月26日	谷口奈央	口腔保健3（歯磨剤・洗口剤・プラークコントロール）
9	5月10日	永嶋哲也	医療倫理1（倫理宣言、患者の権利）
10	5月13日	島津 篤	社会歯科4（社会保障制度）
11	5月17日	谷口奈央	衛生3（栄養・食品衛生・食中毒）
12	5月23日	藤本暁江	社会歯科5（薬機法）
13	5月23日	島津 篤	衛生4（公害）
14	5月27日	島津 篤	社会歯科6（医療法2；医療安全）
15	5月30日	谷口奈央	口腔保健4（研究の種類・EBM）
16	5月30日	谷口奈央	口腔保健5（相対危険・寄与危険・オッズ）
17	6月10日	島津 篤	衛生5（水質汚濁）
18	6月20日	島津 篤	社会歯科7（医療法3；医療介護総合確保推進法との関連）
19	6月20日	島津 篤	衛生6（温熱）
20	6月21日	島津 篤	口腔保健6（フッ化物・歯のフッ素症の指標）
21	6月21日	谷口奈央	口腔保健7（口臭・禁煙支援）
22	7月5日	島津 篤	口腔保健8（スクリーニング）
23	7月5日	永嶋哲也	医療倫理2（インフォームドコンセント、研究倫理、プライバシー、倫理原則）
24	7月11日	島津 篤	社会歯科8（地域保健）
25	7月11日	谷口奈央	口腔保健9（母子保健）
26	8月1日	谷口奈央	口腔保健10（学校保健）
27	8月1日	島津 篤	社会歯科11（高齢者保健）
28	8月8日	島津 篤	衛生7（感染症）
29	8月8日	谷口奈央	口腔保健11（成人・特定健診）

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
30	8月22日	島津 篤	社会歯科12 (歯科口腔保健の推進に関する法律)
31	8月22日	谷口奈央	口腔保健12 (産業保健)
32	8月29日	島津 篤	社会歯科13 (国際保健)

生化学

担当教員	梅津 桂子
学習方法	講義で使用する書き込み用資料は全て生化学講義サブノートに掲載している（下記の講義コマ番号はサブノートページ右上の番号に対応）。サブノートの書き込み部分は、空欄のものと赤字で穴埋めしたものの2つの形が見開きになるように構成しているが、講義前・講義中・復習にどちらを用いるのか、各自の学習スタイルに合わせて活用すること。講義中に重要語句について確認した上で、必修レベル問題や国家試験過去問の解説を行う。サブノートの各々の「まとめ」資料の後に掲載している国家試験過去問については、重要ポイントの解説を行い、基本的に自己学習課題とする。
事前事後学習方法	事前に講義資料集に掲載の問題や書き込み部分を予習しておくことも可能であるが、重要なのは 講義後に十分に復習して知識を体系的に理解すること である。講義1-6は国家試験の過去問とそれに対応する知識の整理、講義7-8のまとめ1-4は重要ポイントを比較しながら体系的にまとめて知識を確認し直すのが目的である。講義9-10では必修レベルの知識を問題形式で確認し直す、この内容は講義1-6の基本となるものであり、講義1-6の進行に合わせて問題を自己学習しておくことが望ましい。
参考書	口腔生化学（医歯薬出版）第5版、Essential細胞生物学（南江堂）
関連DP	Ⅲ-1 生命の分子基盤および細胞の構造と機能を説明できる。
	Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。
	Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。
その他伝達事項	講義は一般・全体的まとめ・必須の順で重要ポイントを3回繰り返す形式となっています。それぞれのレベルの知識を確実に習得して次の回に進むよう心掛けてください。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4月12日(金) 1限	梅津 桂子	国家試験過去問：結合組織1：総論 線維成分 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
2	4月26日(金) 2限	梅津 桂子	国家試験過去問：結合組織2：基質成分 基底膜 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
3	5月17日(金) 4限	梅津 桂子	国家試験過去問：硬組織のタンパク質 石灰化機構 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
4	5月24日(金) 2限	梅津 桂子	国家試験過去問：血清カルシウム調節ホルモン 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
5	6月11日(火) 2限	梅津 桂子	国家試験過去問：唾液1：総論 無機成分 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
6	7月2日(火) 1限	梅津 桂子	国家試験過去問：唾液2：重要なタンパク質成分とその作用 重要な国家試験過去問について必要な知識を整理した上で理解する
7	7月22日(月) 3限	梅津 桂子	まとめ1：重要なタンパク質：タンパク質の生合成について確認した上で、生体内の重要なタンパク質の構造と機能を体系的にまとめる まとめ2：硬組織の無機成分と石灰化機構：エナメル質と骨・象牙質・セメント質について、組成や石灰化機構を比較しながら体系的にまとめる
8	8月5日(月) 1限	梅津 桂子	まとめ3：血清カルシウム代謝と調節：血清カルシウムの調節に関わる3つのホルモンについて比較しながらまとめると共に、ホルモン間の調節機構を理解する まとめ4：唾液の成分：主な唾液のタンパク質について作用や特徴を比較しながら体系的にまとめる
9	9月4日(水) 2限	梅津 桂子	必須対策：基本的用語の確認1：硬組織 結合組織 必修レベルの知識を問題形式で確認する
10	10月16日(水) 2限	梅津 桂子	必須対策：基本的用語の確認2：血清カルシウム調節 唾液 必修レベルの知識を問題形式で確認する
11	11月20日(水) 4限	梅津 桂子	総括・強化講義：模擬試験等から強化する必要がある項目を選別し解説する

感染生物学分野（微生物学・免疫学）

担当教員	永尾潤一
教育方法	「重点問題」（Answer2023に掲載された全国正答率7割以上の問題（必修、一般））と「重点問題」で不足する国家試験重要項目を学習テーマとする。プリント資料を使用し、幅広い領域の基本的で重要な部分を説明する。
事前事後学習方法	「重点問題」を事前に解き授業に臨む。疑問に思う点を事前に確認しておく。
参考書	教科書：口腔微生物学－感染と免疫－（学建書院）、2・3年生時のプリント資料
関連DP	Ⅲ-4 微生物の病原性と感染による病態および免疫機構について説明できる。
その他 伝達事項	Answerをひたすら解くのではなく、改変問題を出題されても対応できる実力を身につけること。「重点問題」と講義で説明される重要項目を優先して学習すること。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4月8日④	永尾潤一	微生物学1、微生物の種類と分類、構造と機能
2	4月22日②	永尾潤一	免疫学1、自然免疫と獲得免疫
3	5月13日④	永尾潤一	微生物学2、口腔常在菌、歯垢、う蝕
4	6月4日③	永尾潤一	微生物学3、歯周病、口腔微生物と全身疾患
5	6月18日①	永尾潤一	免疫学2、免疫系担当臓器・細胞
6	7月2日④	永尾潤一	微生物学4、う蝕・歯周病以外の口腔感染症、全身における感染症（細菌、真菌）
7	8月6日④	永尾潤一	微生物学5、全身における感染症（ウイルス）
8	9月10日①	永尾潤一	免疫学3、免疫・病因と病態
9	9月10日②	永尾潤一	微生物学6、滅菌と消毒、薬剤耐性菌

歯科理工学

担当教員	都留寛治、丸田道人、梶本昇
教育方法	サブノートの内容を完全に理解できるように学習する。
事前事後 学習方法	講義前および講義後にMoodle上にアップロードした穴埋め問題を活用し、知識の定着を確認する。
参考書	スタンダード歯科理工学
関連DP	III-21 歯科診療に用いる材料・器械・器具について説明できる。
その他 伝達事項	必要最低限の必須事項（分類、組成、役割、性質、硬化反応など）については必ず暗記すること。この努力なくして成績向上はあり得ません。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4月19日	梶本 昇	第1章：材料の性質
2	4月19日	梶本 昇	第2章：歯科用印象材
3	5月10日	都留寛治	第3章：歯科用石膏、第4章：パターン材
4	5月10日	都留寛治	第5章：歯科用埋没材
5	5月31日	丸田道人	第6章：歯科用合金・鑄造欠陥
6	5月31日	丸田道人	第7章：歯科用セラミックス
7	6月28日	梶本 昇	第9章：コンポジットレジン・歯質接着 その①
8	6月28日	梶本 昇	第9章：コンポジットレジン・歯質接着 その②
9	7月19日	都留寛治	第8章：義歯床用レジン
10	8月16日	丸田道人	第10章：セメント その①
11	8月16日	丸田道人	第10章：セメント その②
12	8月30日	梶本 昇	第11章：切削・研磨
13	8月30日	丸田道人	第12章：臨床用材料
14	10月15日	都留寛治	必修対策講義
15	11月29日	都留寛治	総括・強化講義

機能構造学（組織）

担当教員	稲井 哲一朗
学習方法	組織学総論・各論、発生学、口腔組織学の「学習テーマ（51テーマ）」別に授業を行う。 ①授業を聴いて、語句の定義、組織構築（組織像、模式図など）が分かっているか確認する ②学習テーマごとの必要最低限の知識を確認し修得する ③講義プリントの必修確認問題（302問）を解いて知識を確認し修得する ④講義資料（スライド形式の配布資料）に掲載している国試過去問を解いて知識を確認し修得する なお、歯の解剖学は児玉先生が担当・講義する。
事前事後学習方法	①講義プリントの必修確認問題を解いて、自分の知識の不足部分を把握して講義にのぞむ。 ②講義で学習テーマごとの知識を確認し理解する（何を覚えればいいのかの確認）。 ③必修確認問題、国試過去問を解いて知識が定着しているかを確認する。
参考書	講義プリント（主教材。必修確認問題を含む）、講義資料（副教材。国試過去問を含む）
関連DP	Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。
	Ⅲ-3 人体の発生、発育および加齢変化を説明できる。
	Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。
その他 伝達事項	国試合格の戦略：「学習テーマ」ごとの必要最低限の知識を整理・修得し、復習をくり返す。 自分の現状を知り、弱点を改善し、復習することを繰り返して知識を定着させる。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4月8日	稲井 哲一朗	細胞小器官、上皮、皮膚と口腔粘膜、舌と味蕾
2	5月17日	稲井 哲一朗	結合組織（血球、骨、軟骨を含む）、筋組織、神経組織
3	6月3日	稲井 哲一朗	骨の由来と骨化様式、内分泌腺、エナメル質
4	6月27日	稲井 哲一朗	象牙質・歯髄複合体、歯周組織（セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉）
5	7月8日	稲井 哲一朗	歯肉、外分泌腺と唾液腺、顎関節、上顎洞、扁桃、歯と歯周組織の加齢変化
6	7月29日	稲井 哲一朗	歯と歯周組織の発生、細胞周期、染色体と細胞分裂、ヒトの発生の概要と初期発生
7	8月26日	稲井 哲一朗	三胚葉と神経堤、鰓弓・鰓溝・咽頭嚢、顔面の発生と異常、口蓋と舌の発生

機能構造学分野（解剖）

担当教員	島山雄次 児玉淳 林慶和
教育方法	講義中におこなわれる配布プリントを中心に講義を展開する。
事前事後 学習方法	以前の講義プリントを事前に目を通しておくこと。また講義で配付されたプリントをもう一度復習すること。
参考書	口腔解剖学第2版（医歯薬出版）、グレイの解剖学原著第4版
関連DP	Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。
	Ⅲ-6 歯・歯周組織・口唇・口腔・顎顔面領域の基本構造と機能を説明できる。
その他 伝達事項	

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4月12日	児玉	骨学（関連領域を含む）
2	5月17日	島山	筋学（関連領域を含む）
3	6月10日	島山	内臓学（関連領域を含む）
4	6月24日	島山	脈管学（関連領域を含む）
5	7月8日	児玉	脈管学（関連領域を含む）
6	7月29日	島山	神経学（関連領域を含む）
7	8月19日	児玉	神経学（関連領域を含む）
8	9月2日	林	神経学（関連領域を含む）

法歯学

担当教員	児玉 淳
教育方法	過去の国家試験問題，模擬試験問題から傾向を知り，応用していく。
事前事後学習方法	過去の国家試験問題を事前に解いてみる。
参考書	法歯科医学（永末書店）：図書館
関連DP	I-1 歯科医療の目的と歯科医師の役割を説明できる。
	Ⅲ-24 災害時に必要な歯科的対応と歯科による個人識別について説明できる。
	I-9 自らの目標を設定し、達成のため自発的意志に基づき学修できる。
その他 伝達事項	法歯学的基础知識を理解する。（解剖の種類，死体現象，関連法規，幼児虐待） 法歯学に必要な歯の解剖について理解する。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	6月3日	児玉	死体解剖と死因究明制度，歯科医師と関連法規
2	6月24日	児玉	歯の解剖学（歯と個人識別），個人識別における頭蓋の重要性
3	8月29日	児玉	死後変化，異状死，身元確認の方法，死後変化について
4	9月5日	児玉	大規模災害時における検死（視）と法医学・法歯学，デンタルチャートについて

病態構造学

担当教員	吉本尚平、岡村和彦
教育方法	国家試験出題基準の内容を中心に授業をする。国家試験の過去問から傾向を探り、改変問題や既存の模試公開問題も踏まえ、各回の内容（国家試験出題基準に準拠）について講義を行う。
事前事後学習方法	サブノートの内容を事前に学習し疑問点を整理・確認しておく。 また、受講後は復習を欠かず、新たに生まれた疑問点について調べたり、質問すること。
参考書	以下の参考書を疑問点や理解が不十分な内容を調べる際に活用すること。 坂本穆彦、北川昌伸、仁木利郎 編集『標準病理学』第6版 医学書院 2019 高田隆、下野正基 編集『新口腔病理学』第3版 医歯薬出版 2021 高木實 監修 高田隆・豊澤悟 編『口腔病理アトラス』第3版 文光堂 2018
関連DP	Ⅲ-5 疾病の発生機序、病的変化および転帰について説明できる。
	Ⅳ-3 診断・治療に必要な検査を選択し実施できる。
その他伝達事項	オンラインに展開されている2年病理学、3年口腔病理学、4年基礎臨床統合演習での講義資料も参考に苦手領域を補うこと。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4/8 Ⅲ	吉本	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 ア 内因、外因
2	4/22 Ⅲ	岡村	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 エ 細胞・組織の適応
3	5/13 Ⅲ	岡村	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 オ 循環障害
4	6/11 Ⅰ	吉本	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 イ 細胞・組織の傷害
5	7/3 Ⅱ	吉本	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 ウ 修復と再生
6	7/5 Ⅲ	岡村	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 カ 炎症（キ 感染症）
7	7/22 Ⅳ	岡村	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 ク 免疫異常
8	8/19 Ⅳ	岡村	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 ケ 嚢胞
9	9/9 Ⅲ	吉本	総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 コ 腫瘍
10	9/9 Ⅳ	吉本	総論Ⅳ 検査 3 検体検査 ア 検体検査 f 病理学検査
11	10/15 Ⅳ	岡村	必修対策／大項目4, 6, 9
12	11/22 Ⅱ	岡村	総括・強化講義

細胞生理学

担当教員	藤田亜美、鍛冶屋 浩、進 正史
教育方法	Moodle教材「生理学・口腔生理学の要点」に掲載された項目を中心に、他教科と関連する領域および国試出題頻度の高い領域を解説する。
事前事後学習方法	1,2年「生理学Ⅰ～Ⅲ」、3年「口腔生理学」、4年「基礎臨床統合演習」での講義資料や授業ノートの内容を確認しておく。
参考書	基礎歯科生理学 第6版(第7版) 医歯薬出版
関連DP	Ⅲ-1 生命の分子基盤および細胞の構造と機能を説明できる。
	Ⅲ-2 人体の基本構造と機能を説明できる。
その他伝達事項	・Moodle 教材「生理学・口腔生理学の要点」を活用する。

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4月8日	鍛冶屋	末梢神経と中枢神経の機能概要、運動路と感覚路について□
2	4月15日	藤田	内分泌の基本事項(ホルモンの種類と作用、フィードバック機構)について
3	5月13日	進	血液成分と機能、造血、貧血、血液型、止血機序について
4	5月27日	鍛冶屋	感覚の分類と特徴、口腔顎顔面領域の感覚(体性感覚と特殊感覚)について
5	6月17日	進	運動と反射、筋の種類と収縮機序、自律神経系の伝達物質と受容体について
6	6月24日	藤田	心臓の機能、循環調節、呼吸調節、換気障害について
7	8月5日	藤田	腎機能、肝臓機能、消化吸収について
8	9月2日	鍛冶屋	ホメオスタシス(血糖調節、摂食調節、Ca代謝調節)について
9	9月9日	進	唾液線の神経支配と唾液分泌、発声、構音について

分子機能制御学分野（薬理）

担当教員	八田 光世
教育方法	<p><u>薬理学総論・各論</u> サブノートの内容を2つに分けて、前半を①、後半を②とする。 それぞれ、①-③の流れで学習を進める。 ①サブノートを使用し、重要ポイントの確認と国家試験過去問を解く。 ②理解度チェックを行い、弱点を見つける。 ③再度、サブノートに戻って弱点補強を行う。</p> <p><u>国試模試の過去問演習</u> 初見問題や類似問題を解くことができるか確認する。</p> <p><u>総合分析テスト</u> 薬理学の総合的な分析テストにより達成度を調べ、最終的な弱点克服を図る。</p>
事前事後学習方法	<p>事前学習：重要ポイントを確認し、国家試験過去問を解く。 事後学習：サブノートと理解度チェックの見直しなど、繰り返し復習する。</p>
参考書	サブノートを中心に授業をするが、薬理学の教科書などを手元に置いておくのが望ましい。
関連DP	III-20 薬物の体内動態と薬理作用について説明できる。
その他伝達事項	<p>①サブノートに出てくる薬物名や用語はすべて覚えること。 ②サブノートの項目と試験問題（理解度チェックや実力試験、予備校模試など）を結び付けて復習すること。 ③試験問題の復習では、「なぜその解答になるのか」について他者に説明できる状態にまでもっていくこと。</p>

授業計画			
コマ	日時	担当教員	授業内容
1	4月26日	八田 光世	オリエンテーション、授業の進め方、国試対策について <u>薬理学総論・各論 ①</u> ①重要ポイントの説明、国家試験過去問の解説および問題演習
2	5月13日	八田 光世	<u>薬理学総論・各論 ①</u> ②理解度チェック（マークシート形式）
3	6月10日	八田 光世	<u>薬理学総論・各論 ①</u> ③フィードバック、まとめ授業と弱点補強 <u>薬理学総論・各論 ②</u> ①重要ポイントの説明、国家試験過去問の解説および問題演習
4	7月4日	八田 光世	<u>薬理学総論・各論 ②</u> ②理解度チェック（マークシート形式）
5	8月6日	八田 光世	<u>薬理学総論・各論 ②</u> ③フィードバック、まとめ授業と弱点補強 <u>国試模試の過去問演習</u>
6	8月19日	八田 光世	<u>総合分析テスト</u>
7	9月9日	八田 光世	総合分析テスト結果の総評・フィードバック、弱点補強

成績評価方法、GPA (Grade Point Average) の活用について

GPA (Grade Point Average)

各授業科目の評点を5段階評価し (A・B・C・C-・D)、それを4から0の点数 (GP: Grade Point) に置き換えて、その点数と単位数を掛け、その総和 (GPT: Grade Point Total) を履修単位数の合計で割った平均点

評点	評語	Grade Point (GP)
100点～80点	A	4
79点～70点	B	3
69点～60点	C	2
再試60点	C-	1
59点～0点	D	0

GPA の算出方法

$GPA = GPT \div \text{履修単位数の合計}$

($GPT = [GP \times \text{単位数}]$ の総和)

実際の計算例

科目名	単位数 (a)	評点	評語	GP(b)	(a × b)
〇〇学講義	1	86	A	4	4
〇〇学講義	2	再試60	C-	1	2
〇〇学演習	2	60	C	2	4
〇〇学実習	3	72	B	3	9
計	8 ^{*1}				19 ^{*2}

$GPA = 19(GPT^{*2}) \div 8$ (単位数の合計^{*1}) = 2.38 (小数第3位四捨五入)

対象教科

原則として、進級あるいは卒業により認定された全ての授業科目を対象とする。

ただし、次の授業科目や修得単位等は計算に含めない。

- 1) 基礎教養科目で必要単位数を超えて取得した科目
- 2) 編入学または転入学した際の単位認定科目
- 3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- 4) その他教授会で認めた GPA 算出除外科目

GPA の活用目的

- 1) 学生の個別の学習指導に活用

前年度 GPA が2.00未満の学生は、進級するのにかなりの努力が必要な状況にあります。

- 2) 特待生等の選考の参考資料に活用

授 業 要 綱

編集
発行 福岡歯科大学

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
電話 092 (801) 0447番
Fax 092 (801) 0427番